

分科会 / 研究会 H23 年度 活動報告書

1. 番号 : A-TS 05-13

2. 名称 : 九州地区流体力学研究会

3. 代表者 :

主査 瀬戸口俊明 (佐賀大学海洋エネルギー研究センター, setoguci@me.saga-u.ac.jp)

幹事 塩見憲正 (佐賀大学工学系研究科機械システム工学専攻, siomi@me.saga-u.ac.jp)

4. 報告事項 :

これまで研究者が個別に抱え、解決に当たってきた流体力学の教育と研究に関する種々の問題を、九州地区に属する者が組織的に当り、互いに情報交換することによって、九州地区の教育と研究のポテンシャルを向上させる事を目的とし、平成9年下半期より活動を開始しました。それ以後6回の設置期間延長を行い、本年度で活動を開始して14年目となります。本会は九州内の19の大学と8つの高専で教育と研究に当たっている日本機械学会メンバー(教職員とDC生の区別せず)を主たる構成員とし、それぞれに流体力学の教育・研究の専門分野ごとに取りまとめを行っています。

活動としましては、日本機械学会九州支部が主催する学術講演会において、各専門分野でセッションを組み構成員などが講演を行って支部の学会員への情報の発信ならびに意見の交換を行っています。また、同じく学術講演会で外部より講師を招き、幅広い流体力学の分野に渡る特別講演を主催しております。平成12年度からは、年に一回大学・高専の夏季休業期間に1泊2日で定例の研究会(トークイン)をとり行うようになり、毎回それぞれの構成員と共に所属する学校の院生や企業からの参加者を含め50名程度が参加し、15件程度の研究報告がなされています。この定例会では研究発表のみならず、各学校から教育・研究の問題とその取り組みの現状などの報告も行われています。また、企業から講師を招き各業界における流体に関する最新の取り組みと問題点についての話題提供を受け、構成員と共に討論を行っています。

本年度も、9月1日から2日にかけて「第12回九州地区流体力学研究会トークイン(九重)」をとり行いました。本年度は、6つの大学から、構成員・学生あわせて60名が参加しました。外部企業より講師を招き話題提供・産学間での情報交換を行う予定でしたが、2012年3月に東北・北関東で大地震があったという事情もあり、企業からのご参加はなく構成員・学生間での情報交換にとどまりました。情報交換では、普段外部で発表を行う機会の少ない学生の発表を主にそれぞれが行なっている研究や教育の現状について報告・討論が行われました。討論の時間も含めて一人20分程度と比較的長い時間をとっていますので、ここでは活発な意見交換が行われます。さらに、その後の懇親会では構成員の間で現在行っている研究・教育に関してのみならず、種々の話題についての話が交わされ懇親を深めています。

5. その他 :

第12回 九州地区流体力学研究会トークイン（九重）プログラム

主催：日本機械学会九州地区流体力学研究会
会場：九州地区国立大学九重研修所
期日：平成23年9月1日～2日

第1日目（9月1日木曜日）

13:30頃	現地集合		
14:00～	開会の挨拶	九州地区流体力学研究会	主査 瀬戸口 俊明
14:10～15:30	研修会第一部（大研修室）		【座長】各研究室の学生より1名
G1001	片山 卓	佐賀大学 木上・塩見研究室	濱川・栗原研究室
	減速流れにおけるNACA65翼まわりのコーナーはく離に関する研究（翼面圧力および上・下流断面の圧力と速度）		
G1002	吉宏 倫也	九工大 田中・潤脇研究室	高曾・荒巻研究室
	シクナー内部の非ニュートン流体の数値解析		
G1003	秋山 良介	九工大 田中・潤脇研究室	山田研究室
	両吸込み渦巻きポンプに発生するキャビテーションの数値解析		
G1004	加茂 龍之介	大分大学 濱川・栗原研究室	山田研究室
	フィン付き円柱から発生する空力音に及ぼす螺旋状側板の影響		
15:30～15:40	休憩		
15:40～17:20	研修会第二部（大研修室）		
G1005	栗原 央流	大分大学 濱川・栗原研究室	林・佐々木研究室
	数理的な手法による非球形気泡群の力学挙動解析		
G1006	増田 広豊	九州大学 高曾・荒巻研究室	吉川・宗像研究室
	円形シンセティック・ジェットの渦輪列の実験的研究		
G1007	西 優	大分大学 山田研究室	植木・坂口研究室
	正方形平板突起背後に形成する剥離渦挙動の可視化		
G1008	溝部 遼平	大分大学 山田研究室	植木・坂口研究室
	十字形接触2円柱の交差部近傍後流に形成される三次元渦構造		
G1009	恵比根 譲	長崎大学 林・佐々木研究室	古川・渡邊研究室
	大型モーターの熱流動簡易解析		
17:30～18:30	夕食		
19:00～20:00	研修会第三部（大研修室）		
G1010	富川 拓郎	熊本大学 吉川・宗像研究室	佐賀大学
	直列に配置した二次元対称翼から発生する後流干渉音に関する研究		
G1011	長嶋 成哉	長崎大学 植木・坂口研究室	佐賀大学
	次世代ターボチャージャのパッシブコントロール		
G1012	川原田 光典	長崎大学 植木・坂口研究室	佐賀大学
	2次元位相ドブラー法によるディーゼル噴霧不均一構造の研究		
20:15～	懇親会（流れ就寝）		

第2日目（9月2日金曜日）

7:30～8:30	朝食		
9:00～10:00	研修会第四部（大研修室）		
G1013	田中 慧	九州大学 古川・渡邊研究室	田中・潤脇研究室
	開放水路における入口絞り付ダリウス形水車の運転特性		
G1014	長尾 淳司	佐賀大学 瀬戸口・松尾研究室	田中・潤脇研究室
	超音速ノズル内の流動特性に及ぼす局所的非平衡凝縮の影響		
G1015	徳田 聖也	佐賀大学 瀬戸口・松尾研究室	濱川・栗原研究室
	超音速ノズル内の過渡的流れの制御に関する研究		

引き続き 九州地区流体力学研究会の今後の活動について
解散